

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

## 事業名 旅館で働く魅力発信事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光企画課 政策企画係 電話番号：058-272-1111 (内 3059)

E-mail：[c11334@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11334@pref.gifu.lg.jp)

### 1 事業費 525 千円 (前年度予算額：9,400 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	9,400	4,437	0	0	0	0	0	0	4,963
要求額	525	0	0	0	0	0	0	0	525
決定額	525	0	0	0	0	0	0	0	525

### 2 要求内容

#### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

近年、外国人観光客が急増するなど観光振興による地域経済の活性化が期待される一方で、旅館・ホテルなどの宿泊業や飲食サービス業は従来から従業員の離職率が高く、また、宿泊業の高齢化が顕著となる中、観光産業の労働力確保は喫緊の課題となっている。

このため、本県が「世界に選ばれる観光地」としてさらなる成長を遂げるためには、本県観光産業の魅力を広く発信し、人材確保を進めることにより、サービスの安定化を図る必要がある。

#### (2) 事業内容

本県観光産業を支える旅館・ホテルの主な業務内容や働くやりがい・魅力について、学生等に対して紹介・発信することにより、就職希望者と県内観光産業事業者とのマッチング、ひいては観光産業の人材確保につなげる。

##### ① 出前講座・合同企業説明会の開催

観光分野を専門的に学ぶ県内外の学生等に対し、県内の旅館の女将などが直接、旅館での働き甲斐や地域の魅力を伝える「出前講座」や県内宿泊施設に特化した「合同企業説明会」を開催する。

## ②観光業のイメージアップPR

県内の旅館・ホテルで働く魅力を紹介する動画等のPRツールを活用し、広く発信を行う。

### (3) 県負担・補助率の考え方

本事業は県内観光産業の振興を目的とする事業であり、県負担は妥当。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	110	出前講座講師謝金
会議費	27	意見交換会実施
旅費	388	出前講座費用弁償、業務旅費
合計	525	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の振興

④観光産業の基幹産業化

### (2) 国・他県の状況

観光産業人材の確保に向けて、近年、各県でも様々に取り組まれている。

### (3) 後年度の財政負担

短期的に解決できる問題ではなく、一定期間、継続して行う必要がある。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

本事業の実施により、「人材の職場定着化⇒サービスの向上、安定化⇒県の観光産業力アップ」というサイクルが実質的に機能し、下表のとおり観光消費額が増加することを目標とする。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値	目 標	達成率
				(前々年度末時点)		
観光消費額	億円 (H - )	2,819 億円 (H29)	2,822 億円 (H30)	2,933 億円 (R1)	3,300 億円 (R7)	88.9 %
観光入込客数（実数）	万人 (H - )	4,556 万人 (H29)	4,603 万人 (H30)	4,800 万人 (R1)	4,900 万人 (R7)	98.0 %
外国人延べ宿泊者数	万人 (H - )	98 万人 (H29)	148 万人 (H30)	166 万人 (R1)	180 万人 (R7)	92.2 %

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （前年度の取組）

学生や留学生、転職希望者を対象にシゴト体験会を実施するとともに、県内の宿泊施設で働く魅力を伝えるための出前講座や合同企業説明会を開催した。

### （前年度の成果）

シゴト体験会を通して、多くの方に宿泊施設で働く魅力や、その宿泊施設がある土地の魅力を体験していただくことができた。

また、出前講座や合同企業説明会の開催により、宿泊施設で働く魅力を直接PRし、学生とのマッチング機会を創出するとともに、宿泊施設と学校との間で顔の見える関係を構築することができた。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価)  ○	本事業は観光産業人材の確保を目的とする事業であり、県の関与は妥当。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)  ○	本事業を通して県内観光産業で働く魅力は県内外の学生及び転職希望者等に着実に認知されており、概ね期待どおりの成果が得られている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価)  ○	大学との連携により、県内観光産業の魅力を学生へ発信するため、効率化は図られている。

### (今後の課題)

実際の就職に結びつく魅力発信の取組みを行う必要がある。
-----------------------------

### (次年度の方向性)

観光産業の人材確保は短期的に解決できる問題ではなく引き続き事業の継続が必要である。
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	